

## 令和6年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)

日時 / 令和6年6月20日(木)~21日(金)  
※日程の詳細は別紙「日程表」のとおり

会場 / 愛媛大学 E.U. Regional Commons (松山市文京町3番)

対象 / 係長、主任相当級の職員

受講定員 / 30名程度

主催 / 愛媛大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)



- ◆全プログラムに参加してください。
- ◆修了者には、SPOD事務局から所属機関に修了者名簿を送ります。

### 研修目的

大学の職員として階層別に求められる知識や実践方法を習得することを目的とする。

### 全体目標

中堅の大学職員としての役割を理解し、自らが直面する課題の解決に必要な知識や実践方法を習得することができる。

### 研修内容

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)のうち、3つの研修科目を実施する。

- ◆ 高等教育論
- ◆ 部下育成実践
- ◆ 企画力育成実践

### 到達目標

#### 【高等教育論】

- ・高等教育の歴史と伝統について説明できるようになる
- ・高等教育機関の教育と運営の制度の特徴を説明できるようになる
- ・高等教育機関を取り巻く環境について説明できるようになる
- ・高等教育の現状を理解することで中堅職員としての役割と課題を説明できるようになる

#### 【部下育成実践】

- ・部下を育成する必要性について、自分の言葉で述べられるようになる
- ・部下を育成するために必要な3つのコアスキルを列挙することができる
- ・部下の育成に関する組織の課題を把握し、解決策を考えることができる

#### 【企画力育成実践】

- ・特定の課題を解決のための企画を立案することができる
- ・効果的・効率的な会議運営を行うことができる



昨年度の様子

### 受講者の声

#### ◆研修を受講して良かったと思った点はなんですか？

- ・今まで係員として勤めているときには意識しなかった「理論」や「法制度」といったことの重要性を改めて認識しました。
- ・本研修では、係長・主任クラスを対象としており、近い立場の方々とワークや雑談等を通して大学職員について語り合う機会があり、大変有意義なものであったと感じた。

学外の方と交流する機会があり、業務上あまりこういった交流がないため、新鮮で、知見を広げるには良いかと思いました。

昨年度の様子



#### ◆各講義を受講して良かったことはなんですか？

##### ◆ 高等教育論

- ・現在日本の高等教育の大衆化が多様な学生が進学する仕組みになったことがよく分かった。目的意識の薄い学生が急増している現在、教育課程の変遷に応じて大学の在り方をどうすべきか考えさせられた。
- ・受講後は大学がその地域に存在するだけで経済効果があるなど、これまで考えもしなかった視点から大学を見ることができるようになり、大学の「役割」について理解が深まりました。

##### ◆ 部下育成実践

- ・部下を育成する為に3つのコアスキルを丁寧に教えて頂き理解できた。自身の日頃の心構えと行動が強く影響し、ケースによって実践方法を変更しながら部下とともに中堅職員としても成長する必要があると感じる。
- ・講義を受けた今は、部下の熟練度(レベル)に合わせた対応として、「教示的・説得的・参加的・委任的」の4つの領域に区分し、上記の強みや弱みと合わせて指示を出すことができるようになりました。

近い立場の大学職員同士で共通の課題に向き合う時間は非常に貴重なものでした。

##### ◆ 企画力育成実践

- ・これまできちんとしたメソッドを習った記憶がなかったので、大変参考になった。
- ・「企画」という捉え難い内容について理解が深まりました。
- ・大学職員として必要な課題解決力を身につけるための方法について学ぶことができた。



昨年度の様子

### 担当講師



近畿大学 IR・教育支援センター 准教授

山口大学 教育・学生支援機構教学マネジメント室 講師

愛媛大学 教育学生支援部教育センター事務課 課長

徳島文理大学 地域連携センター 兼 総務部総務課 課長補佐

竹中 喜一

藤本 正己

高木 佳代子

藤巻 晃

## 令和6年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ) 日程表

会場:愛媛大学 城北キャンパス E.U. Regional Commons (ひめテラス)  
地域サステナビリティスペース(3階)

	9:00	9:15	9:30	12:30	13:30	16:00	17:30	19:30
1日目 6月20日(木)		受付	オープニング	【企画力育成実践】  講師: 近畿大学 竹中 喜一	昼休憩	【企画力育成実践】  講師: 近畿大学 竹中 喜一		情報交換会
2日目 6月21日(金)	9:00	【高等教育論】  講師: 山口大学 藤本 正己			12:30 昼休憩	13:30 【部下育成実践】  講師: 愛媛大学 高木 佳代子 徳島文理大学 藤巻 晃	16:30 研修の振り返り 講師: 愛媛大学 高木佳代子	17:00 クロージング 17:05

※全プログラムに参加してください。

※研修スケジュールは、受講者数・進行によって変更する場合があります。

## 令和6年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)

日時 / 令和6年11月21日(木)~22日(金)

※日程の詳細は別紙「日程表」のとおり

会場 / 徳島大学 新蔵地区 日亜会館(徳島県徳島市新蔵町2丁目24番地)

対象 / 係長、主任相当級の職員

受講定員 / 20名程度

主催 / 愛媛大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)



- ◆全プログラムに参加してください。
- ◆修了者には、SPOD事務局から所属機関に修了者名簿を送ります。
- ◆本研修は、令和6年6月20日(木)~21日(金)に実施した「令和6年度大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)」と同様の内容になります。

### 研修目的

大学の職員として階層別に求められる知識や実践方法を習得することを目的とする。

### 全体目標

中堅の大学職員としての役割を理解し、自らが直面する課題の解決に必要な知識や実践方法を習得することができる。

### 研修内容

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)のうち、3つの研修科目を実施する。

◆ 高等教育論 ◆ 部下育成実践 ◆ 企画力育成実践

昨年度の様子



### 到達目標

#### 【高等教育論】

- ・高等教育の歴史と伝統について説明できるようになる
- ・高等教育機関の教育と運営の制度の特徴を説明できるようになる
- ・高等教育機関を取り巻く環境について説明できるようになる
- ・高等教育の現状を理解することで中堅職員としての役割と課題を説明できるようになる

#### 【部下育成実践】

- ・部下を育成する必要性について、自分の言葉で述べられるようになる
- ・部下を育成するために必要な3つのコアスキルを列挙することができる
- ・部下の育成に関する組織の課題を把握し、解決策を考えることができる

#### 【企画力育成実践】

- ・特定の課題を解決のための企画を立案することができる
- ・効果的・効率的な会議運営を行うことができる

### 受講者の声

#### ◆研修を受講して良かったと思った点はなんですか？

- ・研修後のほうがより俯瞰的に物事を捉えられるようになったように思いますので、これが本研修で得た一番の成果だと考えています。
- ・どのスキルも想像以上に直接的に関係する内容ばかりだったので、研修後早速実行できています。講師の方は皆さん研修の中に様々な工夫をちりばめてくれたので、楽しんで受講することが出来ました。

他大学かつ担当業務が異なる職員と意見交換する機会はあまりなかったため、同じグループになった方との意見交換から刺激を受け、良い機会になったと感じた。

#### ◆各講義を受講して良かったことはなんですか？

##### ◆ 高等教育論

- ・事務職員を配置することは学校教育法で定められており、また大学教育とは社会そのものであり、大学がその地域に存在するだけで経済効果があるなど、具体的な大学の「役割」について理解が深まりました。
- ・普段あまり意識することがない、何のための、誰のための大学か？ということを変更して考えるきっかけとなりました。資源があってこそ人が育つ、という部分が響きました。

##### ◆ 部下育成実践

- ・3つのコアスキル（リーダーシップ、メンタルヘルスケア、ラインケア、コミュニケーション）が必要であるということを学びました。これまで、何となくの経験則で行っていた部下育成でしたが、そこに理論が加わったという感覚でした。
- ・ラインケアの実践で、①部下の変化に気付く、②声をかける、③相談を受ける、④つなぐ、⑤環境を整えることが大切であり、普段から部下との良好なコミュニケーションをとりつつ、点ではなく面で支えていこうと思いました。

##### ◆ 企画力育成実践

- ・「企画書のフィードバック」という言葉が印象に残りました。これまで第三者に意見をもらうことが無かったので、対象者や学生、地域の方にフィードバックいただくことも大事であると気づかされました。
- ・基本がみっちり示されたので、自分の中の企画書に対する「WHY」があつという間に解決されたのが大変印象に残りました。基本は本当に大事だと何度も痛感しました。

職位に応じた考え、行動がどういったものかを学ぶことができた。



昨年度の様子



昨年度の様子

### 担当講師



近畿大学 IR・教育支援センター 准教授

山口大学 教育・学生支援機構教学マネジメント室 講師

愛媛大学 教育学生支援部教育センター事務課 課長

徳島文理大学 地域連携センター 兼 総務部総務課 課長補佐

竹中 喜一

藤本 正己

高木 佳代子

藤巻 晃

# 令和6年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ) 日程表

会場:徳島大学 新蔵地区 日垂会館 2階 講義室1・2

1日目 11月21日(木)	受付	オープニング	【 高等教育論 】  講師:山口大学 藤本 正己	12:30  昼休憩	13:30  【 部下育成実践 】  講師:愛媛大学 高木 佳代子 徳島文理大学 藤巻 晃	16:30  情報交換会	17:30
2日目 11月22日(金)		【 企画力育成実践 】  講師:近畿大学 竹中 喜一	12:00  昼休憩	13:00  【 企画力育成実践 】  講師:近畿大学 竹中 喜一	15:30 研修の振り返り 講師: 愛媛大学 高木 佳代子	クロージング 16:00 16:05	

※全プログラムに参加してください。

※研修スケジュールは、受講者数・進行によって変更する場合があります。